外注化阻止ニュース 第７４４号

〔発行日〕２０２５年９月３日
〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28

ＪＲの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

8月19日（CTS千葉）、24日（CTS西船橋）

連続して熱中症救急搬送

8月19日（千葉事業所）、24日（西船橋事業所）とCTSで熱中症による救急搬送が相次ぎました。深刻な事態です。

蘇我駅では同じ担務で3回も

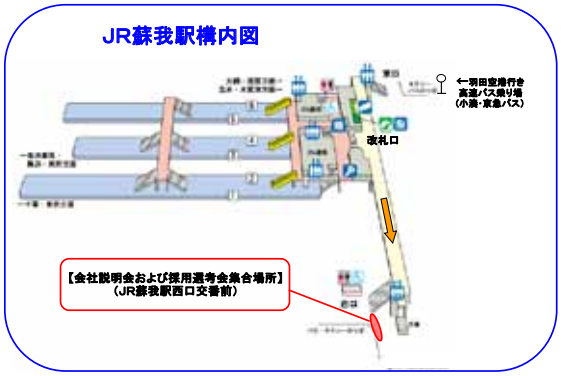
特に、蘇我駅の担務では19日の救急搬送をはじめ、この間、3回にわたって労働者が体調不良で倒れています。

当該の担務では、最も暑い時間帯に、密閉された温室のような空間で、1人での清掃作業が設定されています。19日にはこの担務で熱中症で倒れた労働者を、たまたま通りかかった別のCTSの仲間が見つけて、119番通報したことで事なきをえました。しかし、非常に危険な状態でした。

現場からは「ファン付の空調服を貸与しろ」という要求が上がっていました。

しかし、会社が無視する中であってはならない事態が引き起こされているのです。

集合場所案内図（JR蘇我駅西口）



抜本的な安全対策は会社の義務

6月には幕張車両センターで清掃業務が無責任に丸投げ外注化されたあげく、外注会社の労働者が熱中症の症状で救急搬送され、亡くなりました。本来なら、労災死亡事故を受けて全事業所の担務を総点検し、二度と同じことをくり返さないために万全の対策をとるべきです。

さらにこの間、熱中症警戒アラートが何日も連続で出されています。会社には、最大限の緊張をもって安全対策を行う義務があります。しかし、CTSの職場の現実は何も変わっていません。

6月の労災死亡事故についての団体交渉でもCTS幹部の態度はまるで他人事でした。現場で人が亡くなったことさえ「他人事」―こんなことは絶対に許せません。

外注化撤回・要員確保を

「仕事に出たら生きるか、死ぬか」という労働環境などあってはなりません。すべてはJRがグループ会社に強制している激しいコストカット、要員削減、ぎりぎりの作業ダイヤの中で起きています。二度と繰り返させてはなりません。外注化・コスト削減をすべて撤回し、十分な要員を確保すべきです。